

2025/10/22(水)

雨飾山

メンバー:L 辻、福田、有賀

気温2度。寒い。6:10着の第一駐車場は余裕で空いていた。土日は夜中にほぼ埋まってしまうらしい。平日の曇りでラッキーだった。駐車場に車中泊の70代の男性、何と屋久島からとのこと。しきりに寒い寒いと言っていた。

登山口から山頂まで1/11の看板から始まり、鮮やかな紅葉に心弾む。登山道はぬかるみ多く滑りやすい。紅葉真っ盛りの登山道だが木道後から、まもなく急な登りが続く。ブナ平では沢山のブナの巨木に圧倒されながら、黄色く色づいた鮮やかな紅葉回廊を登る。

天気：曇り 気温2度

06:30	雨飾山登山口～
07:25	ブナ平～
08:00	荒菅沢～
09:50	笹平～
10:20	雨飾山 大休憩 11:00
11:35	笹平～
13:25	ブナ平
14:10	雨飾山登山口



急登の後、沢まで下り荒菅沢を渡渉、結構な水量だ。そこから一気に急登となり連続する梯子を登ると、布団菱の岩肌と雨飾山の山容が目に飛び込んでくる。





▲布団菱の岩肌

笹原まで登ると山頂は近い。ここから最後の急登が待っている。笹原の中に雪があり、登山道には霜柱。冬が迫っているのを実感。急登を登りきる頃に振り返れば眼下に有名な女神の横顔がばっちり。



◀女神の横顔

ほほをちょっと染めてる？

山頂は2つあるが両方合わせても5～6人程度。槍、五竜、立山、白馬、北アルプスの山並みがくっきり！きれいに見え、眼下には糸魚川の街並みや海岸線が広がる。曇りなのに展望はすこぶる良好でなんてラッキー！風は微風ながら冷たく顔や手が強張る。若い女性の登山者はニット帽で冬装備。



下山中に、25名と10名？くらいのツアー団体とすれ違う。別口でお母さんと小学生の子2人も元気に登ってきた。

ぬかるんだ登山道、木の根、岩ごろで滑って転ばないように慎重に下山。下りの方が何倍も気を遣う。

雨飾山は20年以上前に登ったきりだったが、こんなにきつい山だったとは！・・・
年齢のせいかな？

屋久島の男性は6月頃からこの辺に滞在、雨飾山は3度目で登りやすいから好きと言っていた。先週は蝶ヶ岳登頂とか。雪が降る前に帰るつもりらしい。悠々自適で山三昧とは何ともうらやましい限りである。

青空が無かったのが唯一残念だったが、平日で人も少なく赤、黄、緑のコントラストが美しい錦の紅葉と大パノラマが見られて大満足の山行となった。

湯治場で有名だという「山田旅館」に立ち寄ってみたが、受付2:30まで3:30から掃除との事で時間切れアウト。凄く残念！！

※山田旅館の公式サイトより

(江戸時代建築の本館を始め木造建築6棟が文化庁の登録有形文化財になっており江戸、明治、大正、平成とそれぞれの時代に建築された建物が軒を連ね、昔ながらの湯治場の風情を大切に残しています。)

人気のオタリアンジェラートの店は平日のため閉まっていた(土日はやっているらしい)